旧木村家住宅土蔵

指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうきむらけじゅうたくどぞう
所在地	勝央町勝間田
指定年月日	平成28年11月29日
解説	木村家は、代々出雲往来勝間田宿の本陣を務めており、江戸時代末期にこの地に分家され脇本陣も務めるようになったとされる。脇本陣の建物は、昭和45年(1912年)の勝田郡役所庁舎新築に際して大部分が取り壊され、旧木村家住宅土蔵が唯一残された。 土蔵造二階建で、1・2階ともに一室とし、切妻式の屋根で桟瓦を葺く。切石積基礎の上に、壁の大部分を海鼠壁として特徴ある外観を見せる。 土蔵は、勝間田宿旧脇本陣の建造物として残された唯一の遺構で、参勤交代の要衝でもあった宿場町の景観を今に伝える建造物として貴重である。
アクセス方法	JR姫新線勝間田駅から徒歩7分、中国道勝央ICから車で5分
公開状況	外観のみ
設備	トイレ 駐車場
備考	